

部 長

各事務局長

市 長

## 平成27年度予算編成方針について

我が国においては、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、経済やコミュニティなど、地域社会への影響が見込まれるなか、将来にわたり安心して住み続けられる持続可能なまちづくりに向けて、総合的に取り組んでいくことが必要となってきた。

このため、国は、地方創生に向け、「まち・ひと・しごと創生本部」を発足させ、今後5年間の総合戦略を年内にもまとめることから、こうした動きも取り込みながらしっかりと対応する必要がある。

また、市民生活に目を向けると、十勝・帯広の経済については、着実に持ち直しているとされているものの、電気料金の大幅な引き上げや明年10月に予定されている消費税率の10%への引き上げなどにより、大きな影響が懸念されている。

このような状況に的確に対応し、本市の発展につなげていくためには、全ての市民が幸せを感じられるよう、様々な施策を横断的に結びつけ、「フードバレーとまち」の加速・深化を図りながら、成果を一つ一つ着実に生み出していくことが重要である。

平成27年度予算については、こうした考え方にに基づき、第六期総合計画の推進、公約の実現、行政課題への的確な対応を図るため、人口対策の視点を持ちながら、3つの重点を設定する。

各部においては、部長等がリーダーシップを発揮し、政策・施策評価の結果やサマーヒアリングでの議論を踏まえ、限られた財源のなかではあるが、将来を見据えた事業の選択と集中を図りながら、庁内の連携を積極的に行い、予算を編成されたい。

## 記

### 1. 予算編成における重点

人口対策の視点を持ちながら、以下の3つの重点を設定する。

- (1) 力強い地域経済をつくる**
- (2) 未来をつくるひとを育てる**
- (3) 安心できる暮らしをつくる**